

れきはく NEWS

島根県立古代出雲歴史博物館の
旬な話題や情報をお届けします

vol.61
2025.MAY

Shimane Museum of Ancient Izumo

CONTENTS

- 2 休館中もご利用いただける「サービス」一覧
- 3 学芸員が語る！ミュージアム講座／れきはく通信
- 4 里帰り！国宝青銅器－埋納の地へ－
- 5 古代文化センター通信／学芸員通信
- 6 2025イベントスケジュール
- 8 アテンダント通信



工事が始まりました



—— 休館中でも博物館のワクワクは止まらない! ——

休館中もご利用いただける「サービス」一覧

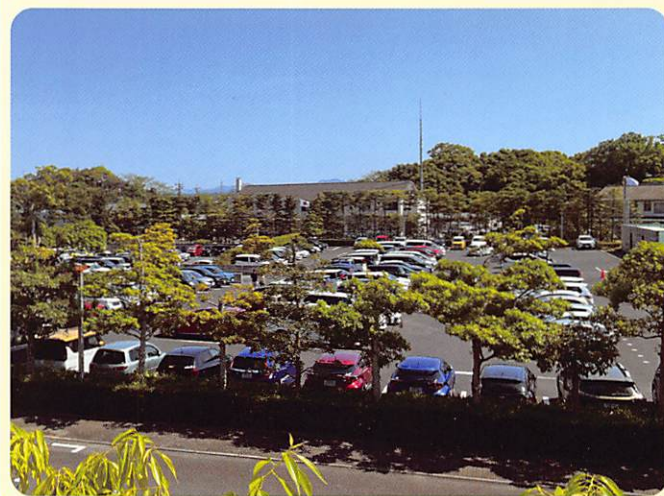
情報交流室

れきはくの情報発信の拠点「情報交流室」は休館中も観光案内や企画展の図録やミュージアムグッズの販売などを行います。

※オープン時間 10:00～16:00 毎週火曜日定休

駐車場を開放

休館中も駐車場の一部を開放。出雲大社などへのご参拝、大社町の観光などにご利用ください。
(工事等の関係で利用できない日がございます。詳しくは当館ホームページ等でご確認ください。)



庭園で思いっきり楽しもう!

広い庭園を使って様々なイベントを開催予定。館内だけではない博物館の魅力を思う存分味わってください。

イベントの詳細等は決まり次第、当館ホームページ等でお知らせいたします。

長期休館中も利用可能なエリア (黄色で着色した範囲)



※工事の都合により、ご利用いただけない日がございます。
詳細につきましては当館ホームページ等でご確認ください。

お問合せ先

TEL.0853-53-8600

<https://www.izm.ed.jp>





当館の学芸員が、島根県の歴史・文化についてわかりやすく解説する月1回の連続講座です。

考古学・歴史学・民俗学・保存科学など、様々な分野の学芸員がとっておきのお話を披露します。

開催日 令和7年6月以降の毎月第2日曜日

定員 各回60名 **時間** 10:00～11:30

申し込み 電話またはホームページのイベント参加フォーム(しまね電子申請)でお申し込みください。

【申し込み先】 TEL.0853-53-8600
<https://www.izm.ed.jp>

開催スケジュール

- | | |
|------------------|---|
| 第1回
6月8日(日) | しまねの土偶を語ろう!
調整監 深田 浩 |
| 第2回
7月13日(日) | 飾り大刀・馬具と古墳時代の首長たち
学芸企画課長 松尾充晶 |
| 第3回
8月10日(日) | 遺跡から見つかる人のホネ
一弥生、古墳時代を中心に 専門学芸員 中川 寧 |
| 第4回
9月14日(日) | 出雲国風土記からわかる地域の歴史
学芸員 田中昇一 |
| 第5回
10月12日(日) | 古墳が終わる時
一出雲地域の終末期古墳 主任学芸員 小田七奈 |
| 第6回
11月9日(日) | 石見の侍(さむらい)・中世益田氏のあゆみ
学芸情報課長 目次謙一 |
| 第7回
12月14日(日) | 隠岐の戦国時代
専門学芸員 倉恒康一 |
| 第8回
1月11日(日) | 安来市富田城下町を考える
一発掘調査の成果から 学芸部長 守岡正司 |
| 第9回
2月8日(日) | 日本三大そば・出雲そばの歴史と、
將軍家への献上品 専門学芸員 岡 宏三 |
| 第10回
3月8日(日) | 県外に伝わった石見神楽
専門学芸員 藤原宏夫 |

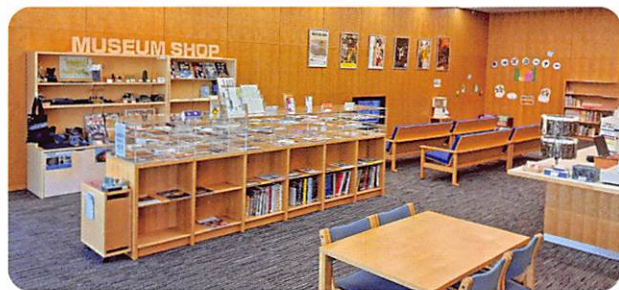
れきはく通信

れきはくの情報発信拠点「情報交流室」は 休館中もご利用いただけるよう、一般開放しています。

観光案内や交通に関する情報提供、県内外のミュージアムなどのパンフレットを常備しております。

また、手荷物の一時預かりも行っています。出雲大社等近辺の散策時にご利用ください。

当館図録やミュージアムショップから厳選したオリジナルグッズも販売しております。



◎営業時間: 10時～16時 ◎定休日: 毎週火曜日
 ◎電話 0853-53-8600(代表)

荒神谷青銅器発見40周年 里帰り! 国宝青銅器 — 埋納の地へ —

Welcome Home! National Treasure Bronze Artifacts - Returning to Their Ancient Origins

主催／出雲市・島根県立古代出雲歴史博物館・荒神谷博物館

会期／2025.4.9(水) - 2026.1.12(月・祝)

会場／ 荒神谷博物館
Archaeological Museum of Kojindani

荒神谷遺跡(出雲市斐川町)では、昭和59(1984)年に銅剣358本が、昭和60(1985)年に銅鐸6個・銅矛16本が発見されました。これほど大量の青銅器を一括埋納した遺跡は全国的にも例がなく、出雲地域の弥生文化を代表する遺跡として広く知られています。発見された青銅器はすべて国宝に指定され、普段は当館に保管・展示されています。

このたび当館が長期休館することから、埋納の地である荒神谷博物館に“里帰り”して展示をおこなうことになりました。4回の展示替えをしながら約9ヶ月間、銅鐸1個、銅剣3本、銅矛2本を展示しています。銅鐸・銅矛の発見40周年となる記念すべき年に、ぜひ国宝青銅器の実物を間近でご覧ください!



展示の様子



4月9日におこなわれた開会式

休 室／火曜日(祝日の場合は直後の平日)、展示替え期間
観覧料／一般¥500・高大学生¥250、小中学生¥130

休 館／年末年始(12月29日～1月3日)
※詳しくは荒神谷博物館ホームページをご覧ください。

◎ 調査研究と企画展

島根県古代文化センターでは、平成4年の設立以来、島根の豊かな歴史文化についての調査研究を行ってきました。調査研究には「基礎研究」と「テーマ研究」があり、基礎研究では、これまでの考古基礎資料調査研究、風土記調査研究、祭礼行事調査研究、中世・近世史料の多角的研究に加えて、今年度より「隠岐に残る文化財の特質に関する多角的研究」がスタートしました。

テーマ研究は、概ね3～4年の期間に、一つのテーマについて調査研究を進めるもので、現在、7本のテーマ研究を実施しています。これらの成果は報告書として刊行するほか、博物館での企画展として、広く情報発信を行っています。

島根県古代文化センター テーマ研究

島根の前期古墳／鋳物と鋳物師の研究／律令制下における地方行政の研究／幕末維新期の島根における地域社会の変容／環日本海の考古学的研究／平安時代中期の国制と山陰地域／出雲の密教とその造形表現の特質に関する研究

昨年、ご観覧いただいた企画展「荒神谷発見！ー出雲の弥生文化ー」、「山陰の戦乱ー月山富田城の時代ー」も、テーマ研究の成果の一つです。そして、もう一つの成果である報告書「島根県域における弥生時代の総合的研究」と「中世山陰の戦争と地域社会」が刊行されました。いずれも島根県文化財愛護協会にて販売します。展覧会で興味を持たれた方は、是非、報告書を手にとっていただき、展覧会図録と合わせて、よりディープな世界に没入してみたいはいかがでしょうか。

◎連絡先 島根県文化財愛護協会 TEL 0852-22-6726



学芸員通信

歴博のリニューアルオープンに向けて

平成19(2007)年に開館した当館は、今年の3月で19年目を迎えました。そのため、施設や展示設備の経年劣化もみられ、また展示に対するニーズも多様化し、展示構成の見直しや最新技術を駆使した表現方法への更新も求められています。

一方で、平成23(2011)年の東日本大震災を受けて改正された建築基準法により、当館もエントランスホールや展示室中央ロビー等の耐震改修が急務となりました。

このため、当館は今年の4月1日から令和8年9月末(予定)まで1年半ほど休館し、改修工事を行っています。これまでに施設のメンテナンスとして、特別展示室の大型可動壁の再塗装や建物外壁の修繕工事などに着手しました。

この間、課題となっていた展示室のリニューアルを行い、施設の魅力アップを図ります。また、休館中には国宝青銅器の「里帰り展」の他に、学校の体験学習の

受入や出前授業、県内外での情報発信、学芸員の連続講座、各種イベントなど、令和8年10月に予定する再オープンに向けて様々な事業を展開します。

これらのイベントの詳細は当館のホームページで随時お知らせします。みなさまのご参加お待ちしております！

交流普及スタッフ 深田 浩



特別展示室 可動壁の再塗装の様子

2025~2026.3 古代出雲歴史博物館 イベントスケジュール

休館中でも博物館は止まらない!長期休館中、展示はご覧いただけませんが、みなさまに博物館を楽しんでいただけるよう様々なイベントを行います。ぜひ、あそびに来てください。詳しいことは決まり次第、当館ホームページ等でお知らせいたします。

※都合により日程等が変更、中止する場合があります。

最新情報はこちらから



6月

8日(日)学芸員が語る!ミュージアム講座

7月

5日(土)~6日(日)県外イベント in 大阪

13日(日)学芸員が語る!ミュージアム講座

20日(日)アテンダントによるミニイベント

8月

3日(日)れきはく夏まつりミニ

Pick up 3日には石見部の親子を対象とした歴史博へのバスツアーも予定

10日(日)学芸員が語る!ミュージアム講座

17日(日)アテンダントによるミニイベント



※去年の夏まつりの様子

9月

14日(日)学芸員が語る!ミュージアム講座

21日(日)アテンダントによるミニイベント

10月

5日(日)れきはく観月会



※去年の観月会の様子

12日(日)学芸員が語る!ミュージアム講座

19日(日)アテンダントによるミニイベント

11月

1日(土)～3日(月・祝)県外イベント in 東京
9日(日)学芸員が語る！ミュージアム講座
16日(日)れきはく秋まつり



※去年の秋まつりの様子

12月

14日(日)学芸員が語る！ミュージアム講座
21日(日)アテンダントによるミニイベント

2026
1月

1日(木)～3日(土)れきはく新年まつり
10日(土)～12日(月・祝)県外イベント
in 名古屋
11日(日)学芸員が語る！ミュージアム講座



※令和7年1月の
新年まつりの様子

2月

8日(日)学芸員が語る！ミュージアム講座

3月

8日(日)学芸員が語る！ミュージアム講座
15日(日)開館記念イベント「れきはくであそぼ」



※令和7年3月の開館記念イベントの様子

アテンダント通信

休館に入り私たちアテンダントが何をしているかというと…。4月はまず館内の大掃除や今後の活動に向けたグループミーティング、イベント準備などを行いました。

館内大掃除

館内の工事エリアの大掃除では、大きな家具から細々したものまできれいに拭き掃除をして移動しました。写真は保存科学専門の学芸員から清掃の説明を受けているところです。わたしたちアテンダントも博物館のスタッフとして文化財保護のための環境維持に取り組んでいます。



荒神谷博物館

開会セレモニーに参加しました

4月、荒神谷博物館で開催された「荒神谷青銅器発見40周年 里帰り! 国宝青銅器―埋納の地へ―」の開会セレモニーに、司会とテープカット介添えで参加させていただきました。



今後のアテンダント活動

休館中のアテンダントは4つのグループに分かれて活動をしていきます。県外イベントでのPRや県内イベントの企画・参加、SNS強化、館内で配布しているパンフレットなどの製作など、活動は多岐にわたります。普段のアテンダント業務の中では経験できないことにもたくさんチャレンジしていきます! 児童クラブや保育園などにもどんどん出かける予定です。また歴博にお立ち寄りいただいたお客様に楽しんでいただけるミニイベントなども企画していますのでお楽しみに♪ 休館中のアテンダントの活動については同封のほっとレタスで詳しく紹介していますので、ぜひそちらもご覧ください!



神門通りで休館のご挨拶

神門通りに出かけ、周辺の店舗に改めて休館のご挨拶をしてまわりました。



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL.0853-53-8600(代) FAX.0853-53-5350
[URL] <https://www.izm.ed.jp> [E-mail] contact@izm.ed.jp
令和7(2025)年4月1日～令和8(2026)年9月(予定)の間、耐震改修工事等のため休館



マスコットキャラクター
雲太くん



発行/令和7年5月



マスコットキャラクター
出雲ちゃん